

広報 すずらん

発行日：平成29年7月1日（平成8年創刊）

発行元：社会福祉法人すずらの会 理事長 松屋 直人 URL: <http://www.suzuran.or.jp>

所在地：〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台7-6-4 TEL: 042-745-8080

編集：広報委員会



退任のご挨拶

大長 義信



去る6月8日に開催された評議員会終了を以ちまして、すずらの会理事長の職を退任致しました。法人設立以来28年の間、皆様に支えられ職責を全うする事が出来ましたこと、衷心より厚く御礼を申し上げます。よわいを重ねて今日に至りました事に加え、昨年度からの法人改革に基づく経営組織の改編に適切に対応して行く為には、これを機に力のある後進に法人経営を委ねるべきと考えた次第でした。まだまだ皆様方のご期待に添えない所も多々ある法人とは存じますが、新理事長以下一丸となって、法人の掲げる理念の実現に向け精進を重ねてくれるものと確信を致しております。皆様方におかれましては、今後も法人への変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げ、理事長退任のご挨拶とさせていただきます。

就任のご挨拶

松屋 直人



6月8日に開催されました理事会にて、理事長に選定されました。平成8年に縁あって法人職員として採用され、微力ではありますが法人の理念の実現に向けて職務を遂行させて頂いてきたつもりです。大長前理事長の後任としてどこまで職務を全うできるか不安ですが、利用者及びご家族の皆様、関係機関の皆様、法人職員の協力を得て、法人の理念が実現できるよう努力してまいりますので、ご支援とご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



◆新役員・評議員体制◆

(敬称略)

平成29年6月8日選任

平成29年4月1日選任

理事長 松屋 直人
理事 福田 立夫
理事 早津 宗彦 (新任)
業務執行理事 池田 宏子
業務執行理事 矢嶋 正貴
業務執行理事 佐藤 倫孝 (新任)
監事 仲川 邦廣
監事 高木 玲子

評議員 白沢 勲
評議員 高宮 基嘉
評議員 山崎 トク
評議員 太田 清彦
評議員 永岡 弘
評議員 三樹 久美子 (新任)
評議員 岡 高義 (新任)

役員任期：

理事及び監事
平成29年6月8日～
平成31年定時評議員会終結時まで

評議員
平成29年4月1日～
平成33年定時評議員会終結時まで

退任されました役員・評議員の皆さまにおかれましては、これまで法人運営を支えて下さり、ありがとうございました。

特集・ご本人の希望に基づいた年齢に応じた働き方と支援

今回ご紹介する現在65歳の大竹 寛さんは、20年以上ずらんの会を利用され、長く法人内にあるグループホームを生活の拠点にされています。高齢に伴いフルタイム勤務から週3日の勤務体系に移行し、現在は、福祉サービスを週2日程度併用して、生活リズムの維持を図りながら年齢に合わせた働き方を実現しています。

企業紹介：(有)ダンボール 代表取締役 須藤 俊一氏

綾瀬市で段ボール製造業を営む有限会社ダンボールでは、現在2名の障害者雇用を行っています。今回須藤代表取締役からの取材を通じて、大竹さんがどのような働き方をされているのかをご紹介します。



須藤代表取締役への取材

Q. 大竹さんが貴社で働く事になった経緯を教えてください。
A. ご本人は、18歳の頃から段ボール製造業の会社で働いていました。その会社の倒産をきっかけに、現在は私が立ち上げをした同業種の会社で15年程働いています。弊社で雇用できる社員の数も限られていたのですが、大竹さんを知っていた元同僚の推薦で雇用をしました。最初は仕事ができるのか半信半疑な部分がありましたが、一緒に働いていると、ルーティンの作業を黙々と行なえる事に驚きました。そしていつしかコンスタントで安定した仕事振りや、電車が遅れても悪天候の日でも、毎日休むこと無く出勤して来る勤務姿勢は、会社の戦力であり強みであると考えようになりました。共に働き同じ時間を過ごし、時にはお互い他愛のない話をし、何事にも一生懸命に取り組んでいる大竹さんの姿を見ている内に、大竹さんが障害者であるという意識はなく、仲間の一人であるという感覚に会社全体が自然になっていました。今のような状態は、会社が障害に対して特別な配慮を行なった結果ではなく、ひとえに大竹さんの人柄が大竹さん自身が獲得してきた信頼があってこそだと思っています。



段ボールの不要箇所を除く「むしり作業」

Q. 現在65歳の大竹さんですが、何か配慮していることはありますか？
A. 体調管理について見守りをしています。ご飯の量やパン、ジュース等の間食の量は、本人と話しながら気をつけるようにしています。そういった食の管理を促す事で血糖値も少し下がりました。これからも見守っていきたいと思います。今後、年齢を重ねるごとに、作業性の減退や出勤の難しさ等の問題が顕著に現れてくると思います。実際、7年ほど前からは、作業をする時の動作も遅くなってきたと感じます。しかしそんな中、体調が優れない日や、出勤しなくてよい日にも、出勤したいという意欲を見せる事もあります。彼の意欲は日々感じますし、ここが彼にとっての居場所であるのだなと感じます。彼と時間を共にして「美味しい物を食べる事が好きで、楽しい事が好きで、色んなところに行きたい」と、年齢を重ねても生活していく上での楽しみを変わらず持っている事を知りました。その楽しみを実現していってもらう為にも、私は大竹さんに長く働いてもらいたいと強く思っています。今後も大竹さんには出来る限り(有)ダンボールの社員でいてもらえるよう、社員や他の事業所職員と連携をしていきたいと思っています。

＜日中活動事業所 フィルイン（生活介護）での様子＞

高齢となり、体力的にも週5日フルタイムで働くことが難しくなったことから、働く日数を減らしながら、ご本人のペースで作業ができる場としてフィルインを利用することになりました。午前中は企業から受注している作業（商品を型番に整列する作業など）に取り組みます。午後は個々の希望に応じて、過ごし方を選択できる様にしていますが、大竹さんの場合は午後も作業を選択することがほとんどです。

フィルインを利用開始してから、約半年が経過しました。就労の場だけでなく、福祉サービスである生活介護を併用して利用することで、今後は大竹さんにとって余暇活動や体力の維持ができる場として、そして過ごしやすい場となる事を願い支援しています。



就労支援課職員による訪問フォロー

Q. 障害者雇用に対する思い等がありますか？
A. 一般の社員と障害者の社員をあえて分けた環境で仕事をするのではなく、同じ環境で仕事をしていくのが良いと考えています。同じ会社で働く仲間として過ごす事が、本人の自信につながり、社会性も自然と培われていくと思います。障害者雇用は、障害者雇用率だけを意識するのではなく、一人の仲間を雇用し共に働くという気持ちや、意思が重要なのだと思います。

＜グループホーム みらいでの様子＞

大竹さんは20年以上法人内のグループホームを利用されています。ここ最近、膝の痛みが生じてきたこともあり、2年前にエレベーター付きの現在のホームに居住環境を移しました。会社やフィルインから帰宅すると、入浴して夕食を摂り、自分の使用した食器の片づけを行います。普段は部屋の掃除もご自身で行います。部屋では、音楽を聞いたりテレビをみたり、自由な時間を楽しんでいます。一番の楽しみは外出することで、週末にはガイドヘルプを利用して遠出をしたり、長期休暇を利用して名古屋にいるご家族に会いに行ったりします。「●●に行きたいです」と、ご自身の意見を積極的に伝えてくれ「楽しかった」と表現してくれるので職員も嬉しく感じます。

高齢になるにつれ、体力的に負荷が大きくなり、部屋の掃除を後回しにしたり、入浴を面倒に思ったりすることが増えてきています。ここ最近では朝起きることが辛く、ホームの職員が急遽迎えに行くこともあります。現在の生活が維持できるよう、今後はさらに手厚い支援が必要になるのも課題の一つです。

就労支援実績（平成28年度）

就労支援委員会 委員長 和賀 行彦

平成28年度は、すずらんの会の支援サービスを利用された53名の方が一般企業に就労しました。

就労した方は、就労移行支援事業や就労継続支援B型事業、大和市相談支援事業等を利用して、企業就労のために必要な準備を整えました。すずらんの会では法人設立以前から就労支援に力を入れてきた経緯があり、ここ数年では毎年50名以上が就労しています。これまで法人が培ってきた就労支援プログラムのノウハウが結果として表れています。また近年は、公共職業安定所や神奈川県障害者職業センターなど、関係機関との連携による動きも活発になり、働く事を希望している方の特性にあった職場開拓を実現できることが増えてきています。県内の法定雇用率は5年連続過去最高を更新しており、神奈川県労働局がまとめた平成28年に発表された障害者雇用状況は、実雇用率が1.87%になりました。しかし、全国

的には、神奈川県の実雇用率はワースト5位、公的機関でも8機関で実雇用率が未達成となっています。そうした結果も踏まえ、今後もしすずらんの会としては『働く』事を中心に活動を行い、長く働き続ける事をサポートしていきます。

主な就労先（職種）	人数
サービス・飲食	4名
医療・福祉	1名
製造	11名
物流	14名
清掃	12名
事務	7名
その他	4名
合計	53名

苦情解決報告（平成28年度）

苦情解決委員会 委員長 池田 宏子

苦情解決委員会では、「ご意見」に気付き、より良いサービスに繋げることを目的に、第三者委員を交えて、いただいた「ご意見」の対応に関する検討会を行っています。28年度に「ご意見」として対応した件数は全体で56件でした。

内訳

- ◆職員の接遇（関わり、言葉遣い、説明不十分） 17件
- ◆サービスの質（食事、環境、サービス不十分） 26件
- ◆被害・その他（事故、制度など） 13件

ご本人からご意見として出される案件は少ないため、電話や口頭で職員がお聞きしてひろいあげたものが多く含まれています。内容は、接遇やサービスの質に関する内容が全体の7割強を占めていました。中でも、職員の確認・伝達ミス、

書類の誤送付等、過去にも「ご意見」としていただいた同様の内容や、報・連・相がなくて「ご意見」に繋がったケースもありました。利用者聞き取り調査からは、職員の言動についての「ご意見」や入浴時間の要望などがあがり、苦情解決委員会から事業所へ対応を依頼して、要望等に応えられるように検討してもらいました。聞き取り調査から見てきた要望等については、今後どう改善できるかの視点で、サービスに繋がれるようにしていきます。

サービスは私たちの仕事の基となるところであります。「ご意見」から得た“気付き”を組織で共有して、利用者・ご家族・関係機関との関係作りを生かしています。

今後は、職員ひとり一人が「ご意見」に気付くための発信をしていきます。

《法人全体 貸借対照表》		[単位：千円]	
借方		貸方	
流動資産	421,554	流動負債	138,998
固定資産	1,044,730	固定負債	187,634
		(負債合計)	326,632
		基本金	277,747
		積立金	297,877
		繰越金	564,028
		(純資産計)	1,139,652
資産合計	1,466,284	負債・純資産計	1,466,284

《法人全体 事業活動計算書》		[単位：千円]	
借方(費用)		貸方(収益)	
就労支援事業(授産)費用	157,122	就労支援事業(授産)収益	188,898
人件費	667,281	自立支援給付費収益	753,180
事務費	170,036	介護保険収益	8,895
事業費	42,994	利用者負担収益	3,886
減価償却費	22,844	特定費用収益	9,162
支払利息等	971	補助金収益	95,650
繰入金費用	85,495	その他の事業収益	43,903
その他積立金積立額	37,247	寄付金収益	561
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 6,479	借入金利息補助金収益	327
		受取利息配当金収益	112
		雑収益	9,055
		借入金償還補助金収益	3,513
		繰入金収益	96,795
合計	1,177,511	その他の積立金取崩額	5,435
当期繰越増減差額	41,861	合計	1,219,372

〔平成28年度決算概要〕 事務長 千田 博伸
平成28年度の事業活動は、事業収益総額121,937万円（前年度比:100%）、事業費用総額117,751万円（前年度比:102%）で、当期繰越増減差額4,186万円です。

平成28年度の収入は、平成28年度予算において、利用率向上への取組により、自立支援給付費収入の向上（前年度比：106%）を目指したものの利用者の就労に伴う後補充が伴わなかったこと、また通年でホームの空き部屋が生じたことなどで、法人全体の対計画利用率が96%に留まり、事業収益総額は121,937万円と前年度並みになりました。また支出は、期中に5名の退職者があり人件費が抑えられたことなどで、事業活動支出は収入に応じた結果（前年度比:100%）となりましたが、期末に将来の施策を考慮した施設整備等積立資金として各事業所の収支状況を勘案しながら2,600万円を支出したことで、事業費用総額は117,751万円（前年度比:102%）となりました。

平成28年度の就労支援事業（授産作業）の収入は18,890万円（前年度比:96%）でしたが、長年にわたり企業様から多くの作業をいただいている受注を中心に、前年度より受注開始した作業の定着化などで、予算に対して126%の結果となり、目標工賃に対しても計画比107%を達成することができました。

平成29年度は、事業の運営は利用者の事業所利用が基本にあることを念頭に、改めて計画した予算の達成に向け取り組んでいきたいと思っております。

すずらんサロンコンサート2017 開催のご案内

日時：平成29年7月8日（土）
14：00開演（13：30開場）
会場：相模原市立市民健康文化センター
ふれあい広場
出演：style-3!
麻溝台高等学校 合唱部のみなさん
竹田望稔（バルーンアート）

ご厚意に感謝申し上げます

（寄付）すずらんの会 父母会 様
（寄付）朝倉自動車整備工場(有) 様

こちらに掲載している他にも、年間を通して多くの方からご支援を頂戴しておりますこと、この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。



平成29年度定期採用職員 8名

配属先	氏名
グリーンハウス	大西 真衣
グリーンハウス	杉山 洋輔
ワークセンターやまと	平林 みなみ
ワークセンターやまと	齋藤 裕美
すずらんの家	山本 春佳
タートル	高橋 吉巳
発達支援部門ぱれっと	渡邊 楓
大和市障害者自立支援センター	久保田 晴菜

編集後記

特集記事の取材を行う中で、ご本人を中心とした関係機関の取組、経緯等を知り、改めて利用者の自己実現に向けた関係機関の連携の重要性を感じました。次号も1人の利用者にとスポットを当てた特集を掲載しますので、楽しみにしていただけたいと思います。（広報委員会）